

筑波大学整形外科 専門研修について

筑波大学整形外科 後期研修制度

- 3年目は基本的に附属病院で研修を行います。ここでは、基本的な整形外科手技(診察方法・手術手技・検査等)を学んでもらうと同時にプレゼンテーションの方法・学会発表の仕方を研修します。
- 4年目からの3年間は関連病院において、外来・手術を学びます。特に外傷についてはここでの研修が重要です。一般整形外科を研修しながら、それぞれの関連病院が得意とする専門領域をさらに経験することも可能です。
- 特に救急外傷医・リハビリテーション医を目指すものには研修病院を考慮します。(筑波大学救急部・リハビリテーション部との連携あり)
- 原則として7年目に附属病院でチーフレジデントとしてジュニアレジデントの指導をおこない、後期研修を修了すると同時に整形外科専門医の取得を目指します。
- 日本整形外科学会認定整形外科専門医は、日本整形外科学会会員となり日本整形外科学会の認定施設で臨床研修6年完了後、受験資格が得られます。ただし、卒後初期研修期間2年間は日本整形外科学会に入会していなくても必要研修期間として申請することができます。したがって、初期研修終了後、後期研修プログラムに参加し、同時に日本整形外科学会に入会すれば、4年後には整形外科専門医の受験資格が得られます。研修病院はすべて日本整形外科学会の認定施設であるため、専門医取得に必要な臨床症例教育、論文・学会研究発表の指導が受けられます。

関連研修病院

県内:茨城県立医療大学附属病院 東京医科大学茨城医療センター

県北医療センター高萩協同病院 ひたちなか総合病院 水戸赤十字病院 水戸協同病院

なめがた地域総合病院 筑波メディカルセンター 筑波学園病院 筑波記念病院

いちはら病院 つくばセントラル病院 龍ヶ崎済生会病院 茨城西南医療センター病院

取手医師会病院 きぬ医師会病院 守谷第一病院

千葉県:キッコーマン総合病院 東京都:公立昭和病院

後期研修終了後には

- 大学院に進学し研究をおこなう(医学博士号取得)
- サブスペシャリティー(専門治療:脊椎外科・手の外科・関節外科など)をさらに極める
- 地域医療に貢献(地域関連病院・開業)
- 海外留学

といった生涯研修を、各人の希望に基づいて選択できます。

筑波大学整形外科の特色

- 末梢神経延長
 - 神経移植でしか治療の方法がなかった末梢神経損傷にたいして、神経を延長して縫合する方法を新たに開発。
- 創外固定を用いた変形矯正
 - イリザロフ創外固定器を応用してさまざまな四肢の変形を矯正しています。
- 骨髄血移植
 - 大腿骨頭・月状骨の骨壊死や骨折後の偽関節に、骨髄由来の幹細胞を注入して好成績を得ています。
- 脊椎外科
 - 内視鏡を用いた最小侵襲手術をおこない術後の早期回復をはかります。
- 関節外科
 - 人工関節を用いない軟骨再生を図る関節形成術の開発。
- スポーツ医学
 - スポーツドクターとして、高校・大学・社会人スポーツチーム、日本代表、オリンピックなどサポートする機会が豊富にあります。
- 医療ラボ
 - CREILセンターに併設されている医療ラボを利用して、手術手技の鍛錬をおこなうことが可能。